

（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開）

『小児てんかん患者における睡眠と認知機能との関連に関する研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2016 年 7 月 1 日より 2020 年 3 月 31 日までの間に、小児神経科、てんかんセンターで「薬剤抵抗性てんかん小児への外科手術が前頭葉機能に及ぼす影響に関する研究」、「注意欠陥多動性障害（ADHD）の中枢神経系病態に関わる神経生理学的マーカーの抽出」、もしくは、精神保健研究所知的・発達障害研究部で「発達障害における実行機能障害の病態解明と神経生理学的マーカーの抽出」の研究に参加され、国立精神・神経医療研究センター病院で脳波を記録した方

【研究期間】

研究開始日より 2027 年 3 月 31 日まで

【研究代表者】

国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部、総合てんかんセンター 中川 栄二

【研究責任者】

国立精神・神経医療研究センター病院 てんかん診療部、総合てんかんセンター 中川 栄二

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

『小児てんかん患者における睡眠と認知機能との関連に関する研究』の目的は、小児てんかんにおける睡眠と認知機能の関連について、神経生理学的、心理学的な客観的な方法を用いて明らかにすることである。そのため上記の期間において研究参加いただいた方の過去の認知機能データおよび脳波を用い、新たに睡眠との関連について再解析を行う。参加者の負担はなく、これまでと同様匿名で行われる。またこの研究は山梨大学との共同研究で行われ、山梨大学にて脳波の解析を行う。授受の方法は、脳波および診療情報、認知機能データは、電子ファイルで管理し、電子媒体を用いて郵送もしくは手渡しで行う。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報等：脳波、診療録（年齢、性別、診断名、脳波検査の検査結果、治療） および質問紙、認知機能検査データ等

提供する試料・情報の取得の方法

情報：カルテの診療録から入手

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

【共同研究機関】

山梨大学医学部小児科学部内准教授 加賀佳美

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 てんかん診療部、総合てんかんセンター 氏名 中川栄二

電話番号

e-mail:nakagawa※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)